

日本語学校による「外国につながる子どもたち」への学習支援教室 実践報告

—仙台国際日本語学校の取り組み—

瀬戸稔彦（仙台国際日本語学校）
佐々木葵（仙台国際日本語学校）

I. きっかけ

2015年夏に「日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室」（仙台市青葉区中央市民センターで開催）を見学。
「外国につながる子どもたち」の現状とその支援体制を知る。→ わたしたちにも何かできるのでは？ 何かすべきなのは？

II. 概要

- ・対象は市内及びその近郊在住の外国につながる小・中学生（場合により未就学児も受け入れている）。定員は10名
- ・日本語学校の長期休暇中に開催
- ・参加費（保険料込み）一人あたり500円
- ・連続する2～3日、各日2～3時間の開催
- ・仙台観光国際協会（SenTIA）の協力



（教室の様子）



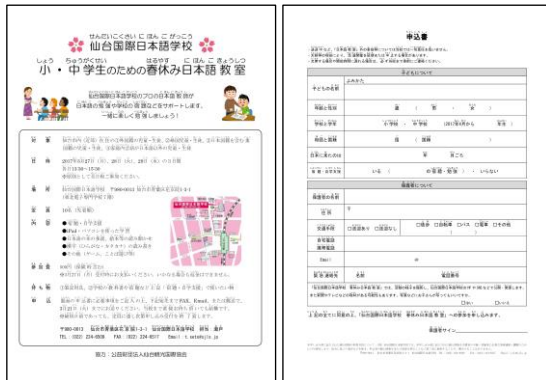
（書道）

III. 目標

- ①子どもたちへの日本語教育・学習支援を通して地域社会に貢献する
- ②教師の教育・教授能力を高める

IV. 特徴

- ・日本語学校の教室、設備、教材を使用（多読用図書室、PC室、iPad、Wi-Fi、プロジェクターとスクリーン）
- ・現役日本語教師が学習支援（当校の専任講師及び非常勤講師）



（広報用のチラシ。日・英・中3つの言語で作成）

V. 内容

5つの難型プログラムをその子に応じて組み合わせている。

- ①読み書き指導
- ②iPad・PCを用いた日本語学習
- ③日本語の本の多読
- ④その他（ゲーム、ことば遊び）
- ⑤宿題・自学支援



（もの当てゲーム）



（iPadで学習）



（図書室で多読）

VI. 効果・利点

- ・他機関が閉鎖している時期に開催
→子どもたちの学びの場の確保
- ・他機関への情報提供
→日本語能力や性格など
→不就学児童・生徒
- ・在校生・卒業生の協力
→翻訳・通訳・サポーター



（卒業生によるサポート）

VII. 課題

- ・サポーターとなる教師の人数確保
- ・長期的な学習支援
- ・活動を通しての成果の把握
- ・付き添いの保護者への対応



（教材・教具）

過去5回開催した同教室の様子は仙台国際日本語学校のブログ・Facebookで公開している。

- ・仙台国際日本語学校ブログ「仙台国際日記」 <http://sisj.blog91.fc2.com/>
- ・仙台国際日本語学校 Facebook ページ <https://www.facebook.com/sendai.japanese/>